

協会からのご案内

- 1 協会だより
- 2 当協会発行・編集出版物
- 3 当協会の国際連携のご紹介

1 協会だより

1. お知らせ：第83回運営委員会／第524回理事会
2. トピックス：ディスクロージャー優良企業選定要領の決定／CIIA（国際公認投資アナリスト）2024年3月試験の実施／シニア・プライベートバンカー（PB）筆記試験（2023年秋）の結果／SAAJサロン第4弾の開催／大阪シンポジウムの開催／GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向」の開催／「証券アナリストに役立つ監査上の主要な検討事項（KAM）の好事例集2023」の公表／講演会の動画／講演要旨
3. 委員・会員の異動
4. 会員の懲戒

1. お知らせ

▶第83回運営委員会を開催しました

2月27日（火）に第83回運営委員会が開催されました。2024年度事業計画書について意見交換が行われました。

▶第524回理事会を開催しました

3月11日（月）に第524回理事会が開催され、以下の事項について決議及び報告が行われました。

【決議事項】

第1号議案 会員に対する懲戒処分に関する件

第2号議案 2024年度事業計画書、2024年度収支予算、資金調達及び設備投資の見込みの件

第3号議案 「証券アナリスト職業行為基準」の一部改正の件

第4号議案 「資産運用アドバイザー教育および試験制度規則」等の一部改正の件

【報告事項】

資金運用諮問会議答申（2024年2月13日付）の骨子

第2号議案では2024年度事業計画書等を原案通り行政庁（内閣府）へ提出すること及び第52回定時総会に報告することが了承されました。

詳細は、当協会ホームページ>マイページ>会員限定>理事会・総会議案をご覧ください。

2. トピックス

▶ディスクロージャー優良企業選定要領を決定しました

当協会ディスクロージャー研究会（座長 許斐潤氏）は、2024年度の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定（第30回）」について、次の要領で実施することとしました。2024年度の評価については、経営戦略とリンクした形での人的資本情報の開示や、資本コストを意識した経営の取組みの開示など、長期的な企業価値の創造や向上につながる情報開示をより高く評価する観点から評価項目および配点を見直しました。

2024年度の評価対象業種は、全18業種（対象企業317社）となります。

また、2005年度から評価対象としている、新興市場銘柄および個人投資家向け情報提供における優良企業選定も継続して実施することとしています。

同研究会では、今回も各対象業種等に精通した証券アナリストの方々の積極的なご協力を期待しています（2023年度のスコアシート記入アナリスト延べ568名）。

○ディスクロージャー優良企業選定

業種	対象企業数	評価項目数	業種	対象企業数	評価項目数
建設・住宅・不動産	18	11	運輸	18	14
食品	23	12	通信・インターネット	17	15
化学・繊維	21	15	商社	7	10
トイレタリー・化粧品	9	16	小売業	22	16
医薬品	22	11	銀行	13	19
鉄鋼・非鉄金属	15	13	保険・証券・その他金融	9	18
機械	20	13	ITサービス・ソフトウェア	12	10
電気・精密機器	25	13	広告・メディア・エンタテインメント	24	11
自動車・同部品・タイヤ	21	8	新興市場銘柄	30	13
エネルギー	21	12			

○個人投資家向け情報提供における優良企業選定については、上記の業種別等19部門のそれぞれの評価結果上位1割の企業のうち、2023年7月から2024年6月までの1年間に、「個人投資家向け会社説明会」を開催した企業を「評価対象企業」（2023年度は28社）として、評価を実施します。

○評価・選定作業の実施日程

- ・各専門部会による対象企業・評価項目等の見直し・・・・・・・・・・ 12月中旬～1月下旬
- ・評価対象企業宛て評価項目および配点一覧等の送付・・・・・・・・・・ 3月上旬
- ・スコアシート記入アナリストの資格照会調査・・・・・・・・・・ 4月上旬～4月末頃まで
- ・記入アナリストへのスコアシートの発送・・・・・・・・・・ 5月下旬

- ・スコアシートの回収・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7月上旬まで
- ・スコアシートの集計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7月中旬～8月上旬
- ・各専門部会による選定結果の取りまとめ・・・・・・・・ 8月中旬～9月中旬
- ・ディスクロージャー研究会における最終決定・・・・・・・・ 9月下旬
- ・ディスクロージャー優良企業選定結果公表・・・・・・・・ 10月上旬
- ・アナリスト大会における表彰企業の紹介・・・・・・・・ 10月中旬
- ・評価・選定結果の各企業へのフィードバック・・・・・・・・ 10月中旬～12月頃

▶CIIA（国際公認投資アナリスト）2024年3月試験を実施しました

CMA（日本証券アナリスト協会認定アナリスト）を対象としたCIIA試験を、3月8日（フランクフルト会場）と3月9日（東京、大阪、香港の3会場）に実施し、延べ121名が受験しました。合格発表は5月末頃の予定です。

▶シニア・プライベートバンカー（PB）筆記試験（2023年秋）の結果について

シニア・プライベートバンカー（シニアPB＜上級レベル＞）資格の筆記試験（総合提案書の作成、2023年秋試験）に関し、PB資格試験委員会（委員長：新井富雄 東京大学 名誉教授）の審議を経て、合格者を決定しました。

シニアPB筆記試験（2023年秋試験）の受験者79名のうち合格者は19名、合格率は24.1%となり、合格者19名にはシニアPB資格が付与されました。この結果、シニアPB資格認定者は、累計で326名となりました。

詳細は、下記ボタンからご覧ください。

詳細はこちらから >



▶SAAJサロン第4弾を開催しました（2月22日）

好評のSAAJサロン、2023年度第4弾「2024年度の内外経済株式市場展望—史上最高値更新はいつか」を2月22日に開催しました（参加者17名）。

講師に大和証券 常務理事 チーフテクニカルアナリスト 兼 テーマリサーチ担当の木野内栄治氏 CMAをお迎えし、超長期の景気循環、日本株の上値目途、テックの動き、大統領選の影響、為替など幅広い視点から今後の内外経済および株式市場の見通しについてお話いただきました。奇しくも講演日に日経平均株価が史上最高値を更新したこともあって、質疑や講演後の講師を交えたフリートークなど、交流が盛んに行われました。

講演部分はオンデマンド配信でご視聴いただけます。



▶大阪シンポジウムを開催しました

- ・開催日、場所：2024年2月15日（木）、ホテルグランヴィア大阪
- ・テーマ：関西経済の現状と2024年の展望～大阪万博を1年後に控えて
- ・パネリスト：関口祐司氏（財務省 近畿財務局長）
中島健至氏（日本銀行理事 大阪支店長）
信谷和重氏（経済産業省 近畿経済産業局長）
- ・モデレーター：藤山光雄氏（日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター副所長）
- ・参加者：92名

シンポジウム後の懇親会では、当協会会員をはじめ多くの方々が親交を深めました。



▶GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向」を開催しました（2月27日）

GIPSセミナー「グローバル投資パフォーマンス基準を巡る最新動向」を会場開催しました。講師の 栗原洋氏（ウロボロス・パフォーマンス・コンサルティング代表、当協会投資パフォーマンス基準委員会委員長、CFA協会GIPS Standards Technical Committee委員）に、27th Annual GIPS® Standards Conference（2023年10月17～18日 CFA協会主催）から、日本市場で参考となる内容を、二つのセッション「GIPS基準に関するアップデート」および「GIPS基準のOCIO戦略への適用／SECマーケティング・ルール」で紹介していただきました。



◆検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方およびPB資格保有者は、下記ボタンから視聴できます。

「動画」はこちらから >



▶ 「証券アナリストに役立つ監査上の主要な検討事項（KAM）の好事例集2023」を公表しました

当協会は、日本公認会計士協会の協力を得て、2024年2月13日に「証券アナリストに役立つ監査上の主要な検討事項（KAM）の好事例集2023」を公表しました。好事例集の公表は、2022年2月、2023年2月に次ぐ3回目で、今回は最後となります。

KAM（Key Audit Matters）は、監査人が財務諸表の監査において特に重要であると判断した事項です。わが国では、2021年3月期決算よりKAMの記載が全上場会社等に強制適用されています。

KAMは、証券アナリストが会社を理解する際に重要な手掛かりになります。

好事例集を参考に、KAMを企業分析、企業との対話等に是非ご活用ください。

詳細は、下記ボタンからご覧ください。

詳細はこちらから >



▶ 講演会の動画を協会ウェブサイトに掲載しました

① <SAAJサロン>

「2024年度の内外経済株式市場展望—史上最高値更新はいつか」（2月22日開催）

講師：木野内栄治氏 CMA（大和証券 常務理事 チーフテクニカルアナリスト兼テーマリサーチ担当）

②<産業研究会企画>

「最近の中東情勢の注目点とエネルギー事情」(2月28日開催)

講師: 田中浩一郎氏 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授)

③<産業研究会企画>

「人的資本経営の最前線～人的資本経営/開示は企業価値評価にどう影響を与えるか、5000社の中からベストプラクティスを学ぶ～」(3月5日開催)

講師: 田中弦氏 (Unipos 代表取締役社長 CEO)

④<産業研究会企画>

「変わりゆく資本主義社会と、上場企業の在り方の考察」(3月11日開催)

講師: 清水大吾氏 (みずほ証券 サステナビリティ推進部 サステナビリティ・エバンジェリスト)

⑤<産業研究会企画>

「中国経済の行方—短期と中長期の展望」(3月13日開催)

講師: 福本智之氏 CMA (大阪経済大学 経済学部 教授)

- ◆検定会員、個人賛助会員、一般会員、法人・法人賛助会員の役職員の方およびPB資格保有者は、下記ボタンから視聴できます。

「動画」はこちらから >



▶講演要旨を協会ウェブサイトに掲載しました

①大阪シンポジウム「関西経済の現状と2024年の展望～大阪万博を1年後に控えて」(2月15日開催)

パネリスト: 関口祐司氏 (財務省 近畿財務局長)

中島健至氏 (日本銀行理事 大阪支店長)

信谷和重氏 (経済産業省 近畿経済産業局長)

モデレーター: 藤山光雄氏 (日本総合研究所 調査部 関西経済研究センター副所長)

②「変革期を迎えた地域銀行経営～アナリストとしての向き合い方～」(2月19日開催)

講師: 大久保清和氏 CMA (トリグラフ・リサーチ 代表取締役)

③<SAAJサロン>

「2024年度の内外経済株式市場展望—史上最高値更新はいつか」(2月22日開催)

講師: 木野内栄治氏 CMA (大和証券 常務理事 チーフテクニカルアナリスト兼テーマリサーチ担当)

④<産業研究会企画>

「最近の中東情勢の注目点とエネルギー事情」（2月28日開催）

講師：田中浩一郎氏（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 教授）

⑤<産業研究会企画>

「人的資本経営の最前線～人的資本経営／開示は企業価値評価にどう影響を与えるか、5000社の中からベストプラクティスを学ぶ～」（3月5日開催）

講師：田中弦氏（Unipos 代表取締役社長 CEO）

◆検定会員、個人賛助会員、一般会員および法人・法人賛助会員の役職員の方は、下記ボタンから無料で閲覧・ダウンロードできます。非会員の方も有料で閲覧・ダウンロードできます。

「要旨」はこちらから >



3. 委員・会員の異動（敬称略）

▶委員の異動

○試験委員会（3月31日）

退任 石原雅行 タカラPAG不動産投資顧問 CMA

○ディスクロージャー研究会

・専門部会（2月15日）

（機械）

就任 前川健太郎 野村証券 CMA

○サステナビリティ報告研究会（3月1日）

就任 古布 薫 インベスコ・アセット・マネジメント CMA

▶ 会員の異動

○新入会者（2024年2月中、五十音順、勤務先は同意のあった方のみ掲載）

検定会員

池澤 春奈	みずほ証券株式会社	原 昂志	明治安田生命保険相互会社
伊澤 壮平		藤井 雄太	
大谷 光一郎		藤原 崇	株式会社 NTT ドコモ
大津 翼		堀山 あい	京都中央信用金庫
小倉 潤		牧 周平	
木村 静香	みずほ証券株式会社	武藤 勉	株式会社 ゆうちょ銀行
重村 大新		和田 充弘	DBJ アセットマネジメント株式会社
中島 秀文			
中原 隆友	株式会社 りそな銀行		

一般会員

小黑 一正 法政大学

○退会・会員資格喪失（2024年2月中、五十音順、同姓同名の場合は会員番号も記載）

1. 定款第12条第1項第1号による退会・会員資格喪失

<会費完納者>

検定会員

浅井 孝明	加藤 民生	富岡 英浩	藤巻 卓
安宅 広興	鎌田 真行	中田 直文	堀田 俊宏
荒井 和彦	木村 良平	中林 武	堀野 正吾
石児 裕二	児玉 光正	長尾 勇吉	堀野 幹人
石田 三也	齋藤 彰	永竹 薫	前谷 雅司
井上 達明	齊藤 玲央	長嶺 秀一	間下 一信
岩永 淳	酒井 孝司	南部 大輔	松本 幸大
海老瀬 正洋	佐藤 高	野崎 義智	宮内 琢也
大石 良直	白坂 雅義	橋本 憲明	焼山 聡
大倉 拓朗	瀬川 強	長谷川 廉	山上 航平
大村 陽	高木 順也	服部 隆秀	山根 秀一郎
岡島 弘行	高橋 悠太	原口 和久	山村 健一
岡本 睦雄	田原 正人	人見 誠	結城 彰浩
海山 久儀	茅野 忠明	福山 翔士	吉田 日向
加藤 武夫	寺尾 和之	藤谷 則夫	

<上記以外>

検定会員

浅谷 智	加藤 寛和	中塚 一徳	丸井 英樹
伊藤 猛	中川 昌己	名倉 伸敏	

2. 定款第12条第1項第3号による退会・会員資格喪失

検定会員 清水 康弘 10866 鈴木 喬

○会員状況（2024年2月29日現在）

個人会員	（検定会員）	（一般会員）	法人会員	賛助会員	（法人賛助会員）	（個人賛助会員）	合計
29,158	(29,092)	(66)	194	142	(116)	(26)	29,494

4. 会員の懲戒

当協会会長は、定款第14条第1項第1号及び第3号の規定に基づき、会員に対し、次の通り懲戒を行いました。

- ・ 処分年月日：2024年3月11日
- ・ 会員の種別：検定会員
- ・ 処分の内容：会員に与えられた権利の全部の停止（停止期間：1年6か月）
- ・ 事案の概要：

当会員は、所属する証券会社（以下「所属会社」という。）のエクイティ本部幹部であったが、当会員及び同本部に所属する部長らは、所属会社の業務に関し、2019年12月25日、東証上場のA社株券について、所属会社の扱う「ブロックオファー」(BO)取引が同日実施されるのに先立ち、同株券の株価が下落傾向で推移する中、同取引で売買価格の基準となる同日の同株券の終値等が前日の終値に比して大幅に下落する事態を回避しようと考え、所属会社の自己勘定で株を買い支えることにより、その下落幅を一定の範囲に維持する旨意を通じ、金融商品取引法施行令第20条で定めるところに違反して、同株券の相場を安定させる目的をもって、同日午後、東証市場において、指値の買い注文を大量に入れるなどの方法により、同株券合計約31.5万株を買い付けた。

当会員は、当該BO取引に関連して同日に行われた所属会社の自己勘定によるA社株券の買付けについて、違法の可能性を認識しながら、その時点におけるエクイティ本部の最高責任者の立場から犯行を了承してこれに関与した。

上記行為は、金融商品取引法第159条第3項及び同法施行令第20条の規定に違反するものである。

- ・ 処分事由：

上記の当会員の行為は、証券アナリスト職業行為基準2. 総則(4)の「会員は、関係法令ならびに本協会の定款、規則およびこの職業行為基準を遵守しなければならない」に違反するものであり、定款第14条第1項第1号の懲戒事由に該当する。また、同行為は、金融商品取引法が禁止する相場操縦行為に関する重大な違反であり、本会の会員としての信用と名誉を傷つけるものであるため、定款第14条第1項第3号の懲戒事由にも該当する。

個人会員の皆さまへ

マイページをぜひご活用ください!!

まだマイページを取得されていない検定会員・一般会員の方は、以下の方法で手続きしてください。

■マイページの取得方法

協会ホームページ (<https://www.saa.or.jp/>) の「**会員手続きについて**」または「**会員手続関連**」の「**会員の各種手続き**」⇒「**マイページ取得手続き**」から

■マイページ取得者限定のメリット (24時間利用可能)

- (1)証券アナリストジャーナル電子ブック閲覧、論文ダウンロード、多機能型検索システム利用 (無料)
- (2)講演会・セミナー等の**要旨ダウンロード** (無料)
- (3)講演会・セミナー等の**動画配信閲覧** (会員割引価格)
- (4)IRミーティング、講演会・セミナーの**簡易申込**が可能 (連絡先等が入力不要)
- (5)**年会費のクレジットカード支払**や入金確認メールの受信、入金状況の確認が可能
- (6)インターネット上でご自身の登録状況が確認でき、**住所変更**や**同意情報の変更**が可能
- (7)継続学習の**クレジット登録**が可能

<照会先> 会員担当 E-mail : member@saa.or.jp